

関東地域版

得意先の満足追求した販売

住宅事業も好調に推移

マルイ木材

「利は元(元)あり」を信条に事業を展開するマルイ木材(東京都東村山市、溝井裕之社長)は、建築資材販売、住宅事業を二本柱で展開する。販売と建築、相互の意見を取り入れ、気配りを尊重する姿勢を貫いている。

現社長の父で同社の創業者は、新木場の水啓木材の親戚に当たる人だ。水啓木材での勤務を経て1977年に久米川の地で小売業を開始したのが出発点だ。小売りの経験はなかつたが「配達をする」ということに憧れていたという。



林場は本社隣接200坪、東大和市に400坪を設ける(円内は溝井社長)

「目先の利益を追求せば仕事を好きになれず、得意先にも愛されない。相手の徳があつて初めて益がもたらされるといふもの」(同)。

また大工、仕入れ先を大切にすることも欠かせない。現状得意先には大工を含めた提案が多くを占めるなかで、職方の確保は必須条件だ。仕入れ先となる問屋にも「客だから」という態度は示さず、社員には紳士的な対応を命じている。

住宅事業は得意先と競合しないよう東京都内を中心に事業を展開する。健康住宅の草分けを自負しているほか、施工の要望に応じて建築士を選択することで意匠面での幅広さを確保している。供給物件には、資材販売を通じて培われた「目利き」を生かし、7寸角の大黒柱を配することで差別化を図る。現状の

震災後、羽柄加工増える

素材出荷の割合も上昇

ナイス 幸浦プレカット工場

ナイス(横浜市、平田恒一郎社長)の幸浦プレカット工場(横浜市)は、震災後の加工数は落ち込んだが、昨年6月中旬から工務店・ビルダー向けにも回復した。ただ工務店向けの加工は昨年11月ごろから減少傾向を見せたが、地域ビルダー向けは今月上旬まで好調を維持した。しかしその後は一服感が出ている模様。

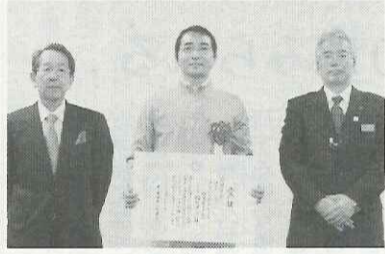
同工場の加工能力は月産70〜80棟。昨年前半は震災の影響で落ち込んだが、後半の挽回により10年と同レベル

供給は注文を主体に年10棟前後で推移し、リフォームは年1000件ほどを手掛けるほか店舗関連の受注も多い。

今後の方向性は、得意先の工場工務店が、スマートハウスに代表される省エネ型の住宅仕様などに、いかに対

埼玉の木づかい感謝祭 最優秀賞は綾部工務店

埼玉県ほか



最優秀賞だった綾部工務店の綾部社長(中央)

埼玉県と埼玉の木づかい実行委員会(坂東正一郎会長)は13日、埼玉の木づかい感謝祭を開催した。埼玉県産材住宅コンクール授賞式や県産材木材の促進に寄与した団体に贈る木づかい感謝状の贈呈式などを開いた。

埼玉県産材を使用し木の良さを生かした木造住宅のコンクールを主催する「埼玉の木づかい感謝祭」実行委員会(坂東正一郎会長)は13日、埼玉の木づかい感謝祭を開催した。埼玉県産材住宅コンクール授賞式や県産材木材の促進に寄与した団体に贈る木づかい感謝状の贈呈式などを開いた。

「地元埼玉の木で作るこんな家に住みたい」と埼玉県産材住宅コンクール2011で、昨年に公開審査の結果、最優秀賞は綾部工務店(埼玉県川越市、綾部孝司社長)の「緑のまちに暮らす家」に決定した。

綾部工務店の綾部社長は「同建築物は、西

災前の1.3〜1.5倍にまで増加したという。「以前から1棟のなかで羽柄の一部分だけ加工するケースはあったが、震災後は1棟すべての加工依頼が増えた」(湯田貞博工場長)。

「黒の家」の八島建築設計室(さいたま市、八島隆代表)が受賞した。

各建築物とも埼玉県産材を利用しながら、環境、デザインにこだわった設計・建築となっており、参加した建築士からは「県産材の杉などでは、利用の幅が限られているようなイメージがついてしまっているが、受賞作品のように、デザインの工夫によって斬新で機能的な住宅の建設ができることに気付かされた。今後、製材所等とさらに協力し、木材の性質を生かしたデザインの住宅で次回コンクールの挑戦したい」との意見も聞かれた。

川材を生かせる在来工法で建築した。川口市が植木で有名で、緑が多い土地なので、外の空間と内観が別にならず、自然と一体化するような空間を作った。また同建築物を含め、当社では木材の乾燥について自社で乾燥度合いを確認し、含水率で20%くらいになったところで刻むようにしている」など建築の工夫を語った。

優秀賞には、小林建設(同本市、小林伸吾社長)の「暮らしをつくり、ひきたて続け

「地元埼玉の木で作るこんな家に住みたい」と埼玉県産材住宅コンクール2011で、昨年に公開審査の結果、最優秀賞は綾部工務店(埼玉県川越市、綾部孝司社長)の「緑のまちに暮らす家」に決定した。

綾部工務店の綾部社長は「同建築物は、西

「その建物 木造でできるかも」

建築金物のカネシン、木造構造計算の東昭エンジニアリング、I・Nパネルのニューホームシステム3社のワイエスグループ(東京都、吉田孝志社長)は10日から、「大型木造建築支援YSキャンペン」を実施している。

「ちよっと待って、その建物 木造でできるかも?」と、当初RC造や鉄骨造の設計でも、入居者のことを考えた木造や混構造へ設計変更するケースも出ている。公共建築物等木材利用促進法が施行されて、昨年各地で

提供。東昭エンジニアリングは、大型木造建築で懸念される大空間、設備なども経験豊富なスタッフが丁寧に対応する。木造のグループホームや保育園等の構造計算実績があるため、構造不造化のサポートや無料相談を

実施している。さらに、ニューホームシステムは温熱計算を無料で行っている。3社ともキャンペンには4月末まで実施する予定。問い合わせはワイエスグループ(フリーダイヤル0120・106・781)まで。

「ワイエスグループ」は10日から、「大型木造建築支援YSキャンペン」を実施している。

「ワイエスグループ」は10日から、「大型木造建築支援YSキャンペン」を実施している。

北 浜 毎週木曜開市 電 048(798)0453

大 栄 浜 毎週水曜開市 電 0476(73)7611

提供。東昭エンジニアリングは、大型木造建築で懸念される大空間、設備なども経験豊富なスタッフが丁寧に対応する。木造のグループホームや保育園等の構造計算実績があるため、構造不造化のサポートや無料相談を

実施している。さらに、ニューホームシステムは温熱計算を無料で行っている。3社ともキャンペンには4月末まで実施する予定。問い合わせはワイエスグループ(フリーダイヤル0120・106・781)まで。

下 館 市 場 毎週金曜開市 電 0296(30)7001

京 葉 市 場 毎週木曜開市 電 047(442)6011

取扱品目 製材品・原木・間伐材

定例市日 毎週木曜日

“国産材生産振興の一翼を担う。”

千葉県木材市場協同組合

木と住の情報館「モクイチ」chiba@mokuichi.or.jp

代表理事 吉 岡 實

〒283-0823 千葉県東金市山田800 TEL0475-55-6161代 FAX0475-55-6171 URL http://www.mokuichi.or.jp/

丸 宇 木 材 市 売 株 式 有 限 公 司

本 社 電 話 03(6904)8141

丸 宇 住 宅 資 材 株 式 有 限 公 司

千 葉 営 業 所 電 話 043(301)8101

成 田 営 業 所 電 話 0476(73)7825

小 平 営 業 所 電 話 042(321)7105